

リハビリテーションだより 2月号

～園芸を通じた心と身体のリハビリ～



当院の入院患者さんの中には、退院後に畠仕事や園芸を再開したいと希望される方がいます。一方で、「体が思うように動かず、もうできないのでは」とあきらめたり、不安を感じている方も少なくありません。また、長期入院による認知機能の低下やストレスを抱える方もいます。そこで、一昨年よりリハビリの一環として園芸活動を始めました。



園芸を通して期待できる効果として

精神面

ストレスの解消

生活リズムの改善

喜びや楽しみ

知能面

思い出を呼び起こす

記憶力の低下を防ぐ

判断力の維持・向上

身体機能面

機能回復

血行・新陳代謝の促進

安眠につながる

社会性

人との交流機会になる

共通の話題で会話の機会ができる

独立心・責任感の維持

園芸作業は景観づくりだけでなく、リハビリとしてその方の目的に合わせた目標を設定し、作業を通して達成を目指しています。車いすの方でも花を見に行くことや水やりを日課にすることで、生活意欲の向上につながっています。

例) 大腿骨頸部骨折の手術後の女性

目的: 安全な園芸活動の獲得
「しゃがむ」「土を耕す」「苗を植える」などの動作の評価をしながら、安全な動作の工夫や代償手段を提案。

前と同じようにできるかな?
気をつけないといけないことはある?

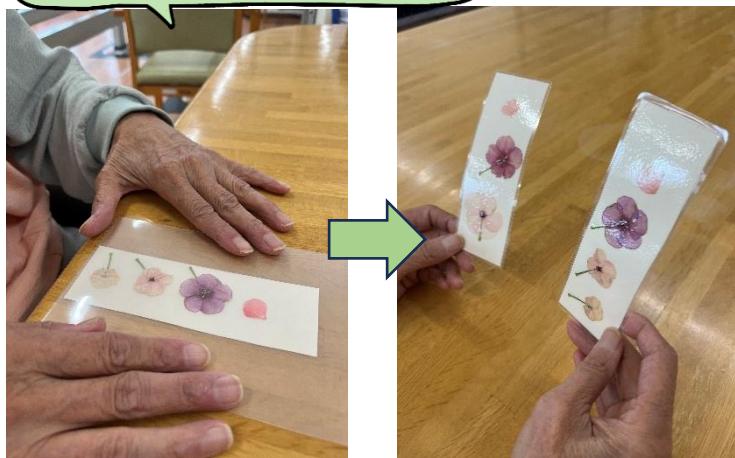


動作能力に合わせて立って作業する人、
座って作業する人



立って作業すれば、
実践的なバランス練習になりますよ

育てたお花で「葉」作り♪



みんなでわいわい!
共通の作業があると
会話も弾みます



参考文献: 1) 日本園芸療法普及協会/園芸療法の資格と仕事の本~園芸療法テキスト*基礎編~
2) 岩崎寛・早坂友成/園芸作業療法ガイドブック

第二東和会病院 リハビリテーション科 作業療法士 松田 愛海